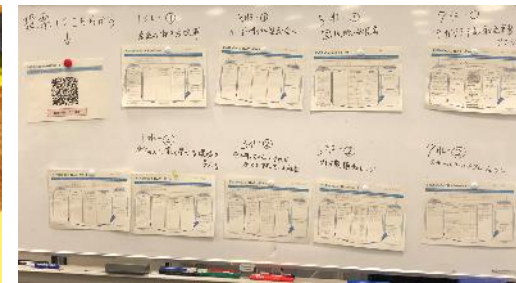


産学官の若手が未来像を描き、価値観の変化を後押しするビジネス案・政策案を立案

ELPISは、これからの社会を担う当事者の目線を科学技術政策に反映するため、20-30代の企業・大学・官庁から100名以上が参加する若手プラットフォーム（経産省の若手職員が企画・運営）。2050年の未来像、そこに至るための価値観の変化、その変化を後押しするアクションを、ワークショップを通じて検討。アクションのアイデア出しには経営デザインシートを活用して、ビジネス案・政策案を立案した。



■ STEP1：個人ワーク（シート①）

シートを活用して未来像と現状の課題を同時に認識しながら、使えるリソース、ビジネスモデル、またその提供する価値を洗い出し、具体的なアクションとしてビジネスや政策を検討。

■ STEP2：グループワーク（シート②）

シートを活用して、各メンバーがどのようにコミットできるかまでイメージして深掘り。途中でワールドカフェ方式で互いにアドバイスし合いながらアイデアを共有。全体発表と、投票により上位3案を決定。

経営デザインシートを活用したワークショップの感想・効果

- 未来像と現状、リソース、提供価値、ビジネスモデルを同一シートにおさめることで、検討すべきことを構造的に捉えやすかった。
- 検討のフォーマットを提示することで、各自のコミットまで考えてほしいというメッセージを伝えることができた。

ディスカッション① 個人ワークシート

氏名：

技術イノベーションによる未来を実現するために、あなたが取り組みたいこと（プロジェクト案）は何ですか？

プロジェクトのキャッチフレーズ

現状

課題

資源

プロジェクトモデル
(ビジネス/政策/他)

提供価値
(誰に・何を)

未来 (2050頃)

未来像

外部環境の変化



ディスカッション②&③ ワークシート

テーブルにいる人の名前：

技術イノベーションによる未来を実現するための、プロジェクト案を具体的に考えてください。

プロジェクトのキャッチフレーズ

プロジェクトを実現する
ための課題

未来（2050頃）に向けたプロジェクト案

資源

プロジェクトモデル
(ビジネス/政策/他)

提供価値
(どんな相手に・何を)

プロジェクトについてあなたが
コミットできること(各メンバー)

外部環境の変化